

魅せましよ 浦戸
月と龍馬の桂浜

[特別展]

花と歴史の 爛漫土佐

第1部 桂浜シン発見 - 浦戸湾歴史探訪

会期 | 2023年 (令和5年) 4月28日[金] - 7月2日[日]

開館時間 | 9:00 - 17:00 (最終入館 16:30) / 会期中無休 観覧料 | 一般 700 円 (20 名以上の団体 560 円)

高校生以下、高知県または高知市の長寿手帳所持者、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・戦傷病者手帳・被爆者健康手帳の所持者とその介護者(1名)は無料

主催 / 高知県立坂本龍馬記念館 (公益財団法人高知県文化財団)

後援 / 高知県教育委員会・高知市教育委員会・高知新聞社・朝日新聞高知総局・毎日新聞高知支局・読売新聞高知支局・共同通信社高知支局・時事通信社高知支局
NHK高知放送局・RKC高知放送・KUTVテレビ高知・KSS高知さんさんテレビ・高知ケーブルテレビ・エフエム高知

高知県立坂本龍馬記念館 〒781-0262 高知市浦戸城山 830 TEL 088-841-0001

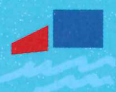
関連企画

1 記念講演会

日時 / 6月17日(土) 13:30 ~ 15:00 (予定)
講師 / 藤田雅子氏
(高知県立高知城歴史博物館学芸課長)
会場 / 新館ホール
定員 / 70名 (先着順・参加無料)
申込 / 5月1日(月)より申込受付
(共催: 現代龍馬学会)

2 学芸員による 展示解説

日時 / 5月20日(土)
6月24日(土)
各日ともに 14:00 ~ (30分程度)
参加無料
会場前でチケットをご提示ください



高知県立坂本龍馬記念館
The Sakamoto Ryoma Memorial Museum



〈坂本龍馬の生涯と幕末〉

新館2階 常設展示室・ジョン万次郎展示室

“土佐の歴史爛漫”^{らんまん}—土佐といえ、幕末史の立役者・坂本龍馬。手紙の展示を通して、龍馬の生涯と躍動した幕末という時代を紹介します。

同時代、漂流の末にアメリカに渡り、西洋文明や英語を学び、自力で帰国したジョン万次郎も紹介します。



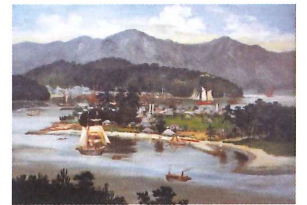
橋本小霞「吸江図絵」(高知県立図書館蔵)

第2章

描かれた絵にみる浦戸湾

「吸江十景」「浦戸湾十景」など風光明媚な地として知られた浦戸湾は古来より様々な絵画で描かれました。

ジョン万次郎から聞いた海外事情を伝え広めた絵師・河田小龍や高知の明治洋画界の重鎮・楠永直枝らの作品を紹介します。

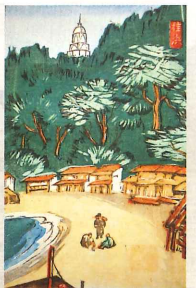


楠永直枝「種崎と浦戸湾」(キャンバスに油彩 高知市立昭和小学校所蔵)

第4章

桂浜シン発見—名勝地から観光地の拠点へ

月の名所として知られる桂浜は多くの文人が遊び、詩歌にも詠われた名勝地。高知を代表する観光地として、県民はもとより、県外や海外の方に親しまれる桂浜の歴史を紹介します。



坂本義信「土佐三十絵図」より「桂浜」(木版画 高知大学学術情報基盤図書館蔵)



【アクセス】

バス：JR高知駅からとさでん交通バス「桂浜」行、MYバスで「龍馬記念館前」下車徒歩2分
車・タクシー：JR高知駅から約35分、高知空港から約25分、高知南ICから約15分
駐車場／普通車42台(うち障害者専用2台)・バス4台(予約優先)

高知県立坂本龍馬記念館
The Sakamoto Ryoma Memorial Museum

高知を代表する観光名所・桂浜公園が約40年ぶりのリニューアル工事を整え、3月4日にグランドオープンしました。4月からは、土佐が生んだ世界的植物分類学者である牧野富太郎博士をモデルとしたドラマ「らんまん」の放送も始まりました。

牧野博士ゆかりの県立牧野植物園がつつ五台山からは桂浜のある浦戸湾を眺めることができます。

このたびの桂浜リニューアルと「らんまん」放送に連動し、桂浜と浦戸湾を中心に、土佐の歴史と文化、そして自然を探訪する特別展を館全体で開催します。

第2会場

〈桂浜シン発見—浦戸湾歴史探訪〉

新館2階 企画展示室

浦戸湾の入口に位置し、高知の代表的な観光地・桂浜。桂浜シン発見の「シン」には、新、真、深、伸、進、清、親、賑・・・など様々な意味を込めています。浦戸湾、そして桂浜の魅力を多彩な展示で発信します。

第1章

船が行き交う浦戸湾—歴史資料にみる浦戸湾

紀貫之による日記文学『土佐日記』にもその名が見られる浦戸。昔から土佐の玄関口、交通の要衝地であった浦戸湾をご紹介します。

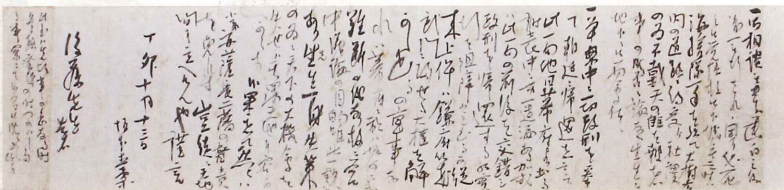


浦戸より大坂迄航路図 (南国市立久礼田小学校所蔵 高知県立歴史民俗資料館寄託)

第3章

浦戸湾の歴史周遊

奥行6kmの浦戸湾の沿岸は、現在、工場や造船所、住宅地となっていますが、幕末維新期の逸話の残る地でもあります。土佐藩の御船倉のあった種崎、龍馬が最後の帰郷時に投鐘した袂石のある御壺瀬をはじめ様々に紹介します。



慶応3年10月13日後藤象二郎宛龍馬書簡(草案)(当館所蔵)

龍馬は、大政奉還に向けて土佐藩の方針転換を迫る“大勝負”のため、慶応3年9月に帰郷しました。その際、浦戸湾の小さな岩礁・袂石に投鐘したといわれます。この手紙で龍馬は、大政奉還に向け二条城に臨む後藤に檄を飛ばしています。



第3会場

〈土佐の花 爛漫〉

渡り廊下
本館2階「海のみえる・ぎやらりい」

県内各地の牧野博士ゆかりの地や自然史系の博物館をパネルで紹介합니다。

5月27日は桂浜「坂本龍馬像」の誕生日です

昭和3(1928)年5月27日に桂浜のシンボル「坂本龍馬像」の除幕式が行われました。それにちなみ、5月27日(土)、28日(日)は様々なイベントを行う予定です。

【特別展】
花と歴史の
爛漫土佐

第2部 月と龍馬の桂浜—坂本龍馬像物語

会期 | 7月15日(土)~10月1日(日)

桂浜のシンボルの存在「坂本龍馬像」は、高知の青年たちが力を尽くして集めた募金が基となって、昭和3年に建立されました。以来90年を経て、多くの人が集い、龍馬の息吹を感じています。この龍馬像ができるまでの逸話を、本山白雲や田中光顕ら4人の先人を中心に紹介します。